

## 前回の議論

夢あふれる学校を目指した協議  
～統合への期待と不安～

ある程度の人数の中で社会性やコミュニケーション能力などを身に付けさせたい。

ICTや木材をふんだんに利用した校舎、立地など、よりよい環境を整備したい。

地域の文化や人、歴史等とのつながりをこれからも大切にしたい。

統合後の登校手段や学童、校舎利用に配慮したい。

さらに進むであろう少子化への配慮が必要ではないか。

(ex.小中一貫校、他市町村にない魅力)

## キーワード

未来を切り拓く力の育成

- ・確かな学力、豊かな人間性、たくましい心身

磨き合って成長できる学習環境

- ・仲間や地域の方から学ぶ、共に成長する

一人ひとりが大切にされる教育

- ・どの子ども、みんなで

ふるさと教育の充実

- ・八百津町の人が好き、文化が好き、自然が好き

子どもたちの未来に配慮した学習環境

- ・新しさ、学びやすさ、通いやすさ、八百津らしさ

統合する学校の魅力の創造 校舎の利用

## その他

- ・統合の事例は？
- ・小中一貫教育とは？
- ・町民への周知と意見聴取



# 統合後の児童、教職員の声

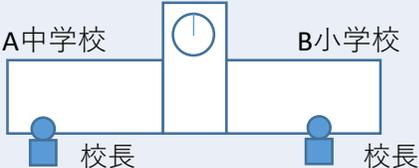
## ◇児童の声

- ・ 友達が増えた
- ・ 我慢しなくてもよくなった
- ・ ドッチボールなど集団遊びが楽しくなった
- ・ 男女のバランスがよくなった
- ・ いろんな意見が出て、授業の話し合いが充実した
- ・ 思うように友達が広がらなかった

## ◇教職員の声

- ・ 個々の切磋琢磨が見られるようになった
- ・ 授業で、多様な意見がでるようになった
- ・ 児童が教師に頼りすぎず、仲間どうしで解決する姿がみられるようになった
- ・ 互いの学習習慣の違いに戸惑いを感じた

# 小中一貫教育

義務教育学校	小中一貫型小学校・中学校
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 修業年限 9年</li><li>・ 一人の校長</li><li>・ 一つの教職員組織</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 組織上独立した小学校及び中学校が一貫した教育を行う</li><li>・ それぞれの学校に校長、教職員組織</li></ul>
<p>9年 前期課程6年＋後期課程3年</p> <p>学年の区切りを 4-3-2 や 5-4 とすることもできる。</p>  <p>校長 1人</p>	 <p>A中学校 校長</p> <p>B小学校 校長</p>

## 小中一貫校のよさ（導入の背景）

- ・ 中1ギャップの解消
- ・ 発達の早期化（体、学習両面の発達上の段差 小5ギャップ）への対応
- ・ 多様な異学年交流
- ・ 小学校高学年の教科担任制
- ・ 部活動複数顧問

## 課題

- ・ 小6のリーダー性の発揮
- ・ 9年間の節目づくり
- ・ 関係者の多忙
- ・ 特別なカリキュラムを作ったときの転出入に対する配慮

# 在り方検討委員会の提言後から開校までの大まかな流れ（案）

在り方検討委員会から教育委員会へ提言



教育委員会一次案（基本計画概要等）の作成



教育委員会一次案の検討

\*外部有識者や保護者、住民等への説明及び意見聴取



教育委員会二次案・条例案の作成



町議会での質疑 条例案の議決

\*必要に応じて説明会等



設計・建築・内覧



開校